

第2520地区  
  
 ひろがれ  
 まわれ  
 一つ心に  
 2018～2019

**MORIOKA**  
 ROTARY CLUB WEEKLY

第39回例会(5月17日)  
 令和元年5月31日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 坂本 広行  
 川徳デパート内 幹 事 藤村 吉隆  
 例 会 場 同上 TEL 019(651)1111(代) 会 報 吉田 幸一  
 例 会 日 毎週金曜日12時30分～ クラブ事務局 TEL 019(653)5682  
 http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019(653)5622

RI会長テーマ BE THE INSPIRATION:インスピレーションになろう…バリー・ラシン  
 盛岡RC会長テーマ -80年の歴史と伝統、繋いでいこう奉仕と友情-坂本広行



ゲスト卓話

「私たちの新たな模索」  
 ～子育て支援の質を求めて～

認定NPO法人いわて子育てネット 副理事長

両川 いずみ 様

スピーカー紹介

いわて子育てネットさんは、当クラブが支援する団体の一つであり、卓話には、5年半ほど前にお越し頂いた後、昨年度、一昨年度とお越し頂いておりますので、活動内容についてはご存知の会員も多いかと存じます。現在、4箇所の子育て支援施設を運営されるなど、様々な子育て支援を実施されています。その経験豊富で多様な活動や、ネットワークの広さを生かした柔軟な子育て支援策には定評があります。  
 青少年奉仕委員長 畠山将樹 会員

盛岡ロータリークラブ

私たちの新たな模索  
 ～子育て支援の質を求めて～



令和元年5月17日  
 認定NPO法人いわて子育てネット  
 副理事長 両川 いずみ

岩手県や盛岡市から受託し運営しています。集団託児や訪問託児などの子どもの預かり事業、自然遊びなど子どもの健全育成のための事業も助成金を活用し行っています。

また、あい・アイハウス事業と言って重篤な病気の子どものさんの家族の宿泊支援を飯塚さんが担当して行っており、多くのご家族から感謝されています。

子育てサポーター養成講座では、子どもさんの預かり事業を行う上で必要な保育士等有資格者中心にサポーターを確保しています。

詳しくは時間の関係上省略させていただきますが各事業では各々成果もあり、社会的評価もいただいています。

【活動の推移】

私たちは、当事者として子育ての不安や悩みを訴えるところから活動が始まりました。国も少子化問題から、家庭で子育てする親子にも子育て支援する光が当たるようになりました。

初めて大きな事業に着手したのは2005年厚生労働省の緊急サポートネットワークという、勤労者の病児の預かりという難しい事業を通じ、今の子どもさんの預かりの基本ができました。

子育て支援が大きく動き始め、子育て親子の居場所づくりが推進され、その中核的施設として県が子育てサポートセンターを盛岡駅西口に作り、私たちが中央に視察に行ったり子育て親子の居場所の運営とはどんな風に作っていけばいいのか、探りながらの毎日でした。基本的にいつでもだれでも安心して居心地よく過ごせる場所であり、流行に流されず、誰が見ても安心できる支援の仕方を心がけようと心がけています。その後受託した盛岡市つどいの広場KOKKOやにっこ、もりおか応援プラザは子育てサポートセンターを基準にしながらも立地場所や設置目的に合わせて運営しています。

ご紹介いただきました、認定NPO法人いわて子育てネットの両川です。

今回で3回目となり、御礼もうしあげます。

また、募金を分けていただくとのこと心からお礼申し上げます。

今回は今までの活動の流れと現状とこれから進もうとしていることをご紹介しながら、いただく募金の使い道をお示しさせていただきます。

活動内容

- 1 子育て支援施設運営(委託事業)  
 子育てサポートセンター(アイーナ)・盛岡市つどいの広場KOKKO・にっこ  
 もりおか子育て応援プラザ
- 2 子どもの預かり事業(委託事業・自主事業)  
 一時預かり・集団託児・訪問託児
- 3 子どもの健全育成のための事業(助成事業)  
 自然遊び・外遊び
- 4 ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス支援活動(自主事業)  
 あい・アイハウス(患児家族宿泊支援)
- 5 人材育成事業(自主事業)  
 子育てサポーター養成講座

私たちはNPOで子育て支援活動をはじめ、もう17年たちます。

年末年始を除き毎日活動し、分野も多岐にわたっております。昨年度、私たちの活動を利用・参加した方々は54,372人です。

主な活動は4カ所の子育て支援施設の運営で、

2009年、2010年では母親が働いたり、社会参画するうえでどうしても子どもの預かりが関わってきます。保育園や身内で見てもらえるケースはいいのですが、安心して子どもを預けられるシステムと場所を構築し、保育士等有資格者の発掘と養成も行うようになりました。


2011年から2016年は通常の子育て支援施設の運営を行いながら東日本大震災の支援活動に終始しました。それはそれまでの活動経験と各機関や団体、個人のネットワークをフルに生かした活動でした。

社会が大きく変化し、答えのない課題が山積しているこの時代を担う人間はどんな人物でしょう。「好奇心が強く、やる気があり、やり抜く力もあり、コミュニケーション能力も高い人など」いわゆる、非認知能力が備わっている人。その能力は幼児期に培われるといわれ、文科省も厚労省も乳幼児期の過ごし方に注目し幼児教育の重要性を唱えています。

脳科学も進んで色々なことが科学的に解明されてきました。2017年、私たちは、そんな勉強会を開催したり、温故知新、地元学的なことなどアイデンティティにつながる働きかけの事業を行いました。子育て応援の最も心強いのは祖父母によるもの、上手に関われる方法など探りました。

2018年は、自然遊びをネイチャーゲーム協会の協力も得て行いました。2歳児前後の親子と感性をきらきらさせて自然遊びデビューでした。年度末には盛岡市つどいの広場KOKKOと子育てネッ

私たちの新たな挑戦 ～子育て支援の質を求めて～

2019年	
<b>幼児教育の重要性</b> ・体験遊び ・アイデンティティを育てる地元塾	活動の見直し・方向性を見直し ⇒より現状的な提案型活動へ ・子育て支援の質の向上 ・子育てについて学習の機会
子育て支援の視野を広げる 不足する体験遊び	・子どもの育ち ・重視される非認知能力 ・いかに非認知能力を育てるのか ・学習経験者の参画が見込める ・子育て中の親の学習の機会がない
自然遊び 「こんなこと伝えたい盛岡のあれこれ」	「じいばあばもね家族みんなの子育て応援事業」 自主事業 「月曜日の会」 高濱裕子氏(お茶の水女子大学名誉教授) テーマ「子どもの感情を育てる」 6/3子どもと絵本:読書の楽しさを伝える(絵本をよんでみる) 9/2子どもの自己出逢い・成長 (子育ての楽しさを伝える) 12/2子どもの気持ちの理解(子どもの気持ちをどう伝えるか、適切な気持ちの言葉を伝えるために) 2/3子どものパーソナリティと子ども同士との関係
社会的 取組み	

ト本部の移転があり、悩ましい年でもありましたが、様々見直すいい機会になりました。

【今年度以降の取り組み】

今年度は、岩手県出身のお茶の水女子大学名誉教授、高濱裕子先生をお招きして勉強会「月曜日の会」の開催を予定しています。

私たちの活動は当事者目線の子育ての不安、悩みを訴えることから始まり、支援者として多彩な活動を行いながら、もっとコンピテンシーを高める知見を広げ深めていく。そして実践とともに根拠に基づいた提言をする団体に成長していきたいと考えています。

今は事務所もKOKKOも菜園の住民となりました。この度お預かりする募金のお金を使わせていただきますので、どうぞお寄りください。

今日はこのようなお話ができる機会をいただきありがとうございました。

例会報告

第39回例会  
令和元年5月17日(金)

- 12時30分 開会点鐘
- ・司会 坂本広行会長
  - ・ロータリーソング(我らの生業)
  - ・四つのテスト斉唱

- ・ゲスト 両川いずみ様(いわて子育てネット 副理事長)
- ・会長報告 坂本広行会長
- ・入会祝 塚田幸志君
- ・誕生祝 福井誠司君
- ・結婚祝 三田光男君
- ・幹事報告 藤村吉隆幹事
- ・委員会報告

【ニコニコBOX】

◆金沢 滋君…いわて子育てネットの地道な活動に、いつも拍手を送らせていただいています。パワフルな両川さんにニコニコです。ますます、盛岡の子どもたちとご家族にエネルギーを与えて下さい。私も役員の一人としてがんばります。

出席報告

会員数/76名

出席数/43名

出席率/58.9%

前々回/休会



プログラムのお知らせ

- ・5月31日(金) 卓話
- ・6月7日(金) ゲスト卓話 インクルいわて
- 14日(金) 第4回クラブアッセンブリー
- 20日(木) ターミネートパーティー(21日例会変更)
- 28日(金) 特別休会

●本号編集担当/金沢 滋